

### 平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	歴史文化を活かした地域づくり
事業主体 (連絡先)	入山辺地区歴史文化愛護会 松本市入山辺1509-1 Tel 0263-32-1389
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業 (5) 環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	414,000 円 (うち支援金: 310,000 円)

#### 事業内容

文化資産への関心が薄れ、継承や保存が困難になっている現状に対処するため、先人の教えを学び、地域住民の関心を高める以下の事業を実施した。

(1) 平成26年に発刊した、入山辺文化誌の活用した、講座、勉強会の開催。

- ・地域の文化資産を知ろう講座
- ・先人の教えに学ぼう講座
- ・小中学生への勉強会
- ・中学校教職員への研修会

(2) 文化資産の整備・保護の実施

- ・整備がされていない山城（宮原城、水番城）の登山道の整備を実施及び説明板、案内板の設置



<説明板設置作業>

#### 【目標・ねらい】

- ① 文化資産への関心を高めるための講座・勉強会等の開催。
- ② 地域住民の参加による、文化資産の整備・保護の実施。

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

(1) 講座等の開催で文化資産への関心が高まった。

- ・地域の文化資産を知ろう講座 5回 69名
- ・先人の教えに学ぼう講座 3回 60名
- ・小中学生対象の勉強会 2回 49名
- ・中学校教職員の研修会 1回 23名

(2) 住民の参加により、文化資産の整備ができた。

- ・宮原城整備作業 5回 23名
- ・水番城整備作業 5回 25名

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

地域の文化の歴史が網羅された文化誌を活用し、先人の教えを学び、文化資産への関心を高めるとともに、各集落での実施が困難となっている、伝統行事や文化資産の保護を、入山辺地区全体の問題として積極的に関わり、持続性のある地域づくりをしていきます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

#### ※自己評価【A】

#### 【理由】

- ・予定していた講座、勉強会等が実施できた。
- ・山城の整備、保護ができた。
- ・地域住民の文化資産への関心が高まった。